教科名	理科	科　目	生物	単　位	3単位

1. 教科書および副教材
   (1) 教科書　「生物(数研出版)」
   (2) 副教材　「リードα生物(数研出版)」「フォトサイエンス　生物図録(数研出版)」
2. 授業の目標および内容
   (1) さまざまな事例を通して、自然界と生物、人間に対して関心を持ち、生命を探求しそれに対する理解を深めるとともに、生命の本質を理解するようにしたい。
   (2) 基本的内容を理解し、現学年から大学入試へ対応できる基礎学力の養成を目指す。
   (3) 授業の進め方としては、教科書の進度に合わせ進めていく。
3. 試験

	1学期		2学期		3学期
(1)定期試験	5月	7月	10月	12月	3月
(2)学力試験	なし		9月		2月

   (1) 定期試験：履修した内容の理解度を確認することが目的で、範囲を指定して出題する。教科書のほか、リードα生物、配布プリントなどをよく勉強しておくこと。
   (2) 学力試験：履修したすべての範囲から出題される。発展問題の割合が増える。
4. 課題、補習
   必要に応じて実施する。
5. 評価の基準
   定期試験の点数を基本とし，平常点も加味して算出する。
6. 授業計画

学期	単元	内容	備考
1	第1編 生物の進化 第1章　生物の進化	1. 生命の起源と生物の進化 2. 遺伝子の変化と多様性 3. 遺伝子の組み合わせの変化 4. 進化のしくみ 5. 生物の系統と進化 6. 人類の系統と進化	【観】減数分裂の観察 【実】遺伝子頻度の変化シミュレーション 【実】カタラーゼのはたらき
	第2編　生命現象と物質 第2章　細胞と分子	1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 化学反応にかかわるタンパク質 4. 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質	
2	第3章 代謝 第3編　遺伝情報の発現と発生 第4章　遺伝情報の発現と発生	1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸と発酵 3. 光合成 1. DNAの構造と複製 2. 遺伝情報の発現	【実】細胞内ではたらく酵素による酸化還元反応 【実】アルコール発酵 【実】植物の光合成色素の分離 【実】遺伝子発現の変化

		3. 遺伝子の発現調節	
3		4. 遺伝子の発現調節 5. 発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術	【実】遺伝子組み換え実験 【観】ウニの受精の観察